

謹賀新年

年頭のごあいさつ

小国町長 仁科 洋一



新年明けましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、令和4年8月3日の大雨により、町内各所で甚大な被害が発生しました。被災された皆さまに、お見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興を進めてまいります。また、12月18日から町内では大雪となり、各地で停電が発生するなど町民生活への影響もありましたが、すぐに小国町豪雪対策本部を設置し、対応にあたってきました。

小国町は、現在、羽越水害の翌年にあたる昭和43年に開館した、おぐに開発総合センターに

代わる次期総合センターの建設準備を進めています。現総合センターは、復興のシンボルとして町民の皆さまに親しまれ、羽越水害後、今日に至るまでまちづくりの歩みを町民とともに見つけてきました。次期総合センターはその役割と新たな時代の要請を担う機能を併せ持つ「白い森おぐにのヒト・モノ・コトを結ぶ未来創造拠点施設」として整備することとしております。

また、今年度から本町の豊富な森林資源を活かし、産業創出につなげる「森林サービス産業推進事業」に取り組んでおります。町民の皆さまと連携しながら滞在型の観光・健康プログラムの開発やガイドの育成などを

行い、都市部からの観光客等、交流の拡大を目指します。

このほか、本町が推進する保小中高一貫教育の最終教育機関である山形県立小国高等学校では、県外から入学生を募集し、高校3年間で本町で過ごす「白い森留学」が開始され、今年度は7人が入学しました。令和3年度から開始した2年生の1年間で小国高校で学ぶ「地域みらい留学365」とあわせ、生徒が主体的に地域課題の解決等を探究する「白い森未来探究学」等の特色ある学びを地元生徒と学ぶことにより、私たちには当たり前に思える、地域の魅力に留学生が気づき発信することで、地元生徒の郷土愛の醸成にもつながっているといえます。

そして、5年後、10年後、町民の皆さまが輝いている小国町を築いていくためには、町民や民間の力が不可欠であります。町民の皆さまとともに「わくわくするまちづくり」に引き続き全力で取り組んでまいります。

本年が皆さまにとって希望に満ちた輝かしい1年でありますよう、心からお祈り申し上げます。



▲小国☆地域みらい塾の塾生による「伊佐領ハロウィン」で8月豪雨災害で被災したJR米坂線の早期復興を願い、横断幕を作成



▲今年度開始した森林サービス産業推進事業での森林浴体験会の様子

これまでの集大成へ



伊藤 未結さん
(米沢中央高校3年・バレー)
春の高校バレー出場
2023年1月4日～8日開催

1月4日から開幕する春の高校バレーが最後の大会です。オレんじコートの上で、自分のベストが尽くせるように、これまで、技術的な積み上げはもちろんですが、精神面での強化を頑張ってきた。3年間取り組んできたことをしっかり発揮したいです。

また、小さい頃からの夢である養護教諭を目指し、勉強にも力を入れています。そして、高校の時には部活動中心の生活で、できなかったことにも取り組み、楽しい1年にしていきたいです。

新

春

特

集



あけましておめでとうござい
ます。

2023年は卯年（うさぎどし）です。もともと十二支は植物が循環する様子を表しています。卯は十二支の4番目で、草木が地面を覆う時期とされており、新しいことに挑戦するのに最適な年といわれています。

今月は、町を飛び出し、山形県を代表してスポーツ競技で戦う子どもたちに将来の夢や今年の抱負を話していただきました。

目標はオリンピック出場

オールスター戦は、日本代表候補が集まる試合なので、とてもレベルが高かったです。自分がどのくらいできるのかドキドキしながらピッチに立ちました。チーム全員で声を掛け合い、しっかりとコミュニケーションも取れ、自分の力を発揮できたと思います。

将来の夢は、ホッケー日本代表のさくらジャパンとして、オリンピックに出場することです。世界で戦える選手になるため、基礎をしっかりとやる中で技を変えたりするなど、工夫をして練習に取り組んでいます。

今年は、コロナ禍でもいろんな大会が開催されることに感謝し、各大会で上位入賞を目指し、充実した1年にしたいと思います。



齋藤 愛佳さん
(小国中3年・ホッケー)
U15女子ジュニアユース日本代表候補オールスター戦出場(2022年)

”

レシーブで落とさない



船山 瑠莉さん
(小国小6年・バレー)
全国スポーツ少年団バレー
ボール交流大会出場
2023年3月24日～27日開催

地区予選では、最後の1点まで自分たちがやってきた練習を生かせるように集中していました。「おぐに」の持ち味はレシーブを落とさないことと教わり、全員で頑張りました。そして、皆が繋いでくれたボールは最後に私に回ってくるので、必ず得点できるように、コースを狙う力を付けてきました。

全国大会では、予選通過を目標にチーム一丸になり戦い、地区予選でも経験した、みんなの気持ちの一つになる瞬間を感じることができるよう頑張ります。

ずっとバレーボールに関わりながら、春高バレーに出場することが目標です。

”

今を一生懸命に

県の代表選手として初めて出場でき、緊張しましたが、高いレベルの選手と楽しみながら競い合うことができました。ただ、小さいミスがあるので、日々の練習や出場する大会でも、ミスをしないように意識し、積極的に競技に挑んでいきたいです。

今を一生懸命努力し、一人の選手として有名になれば嬉しいです。



今 琉希亜さん
(小国中3年・陸上)
東北中学校陸上競技大会
2022出場

”

名前を残せる人に



伊藤 蓮人さん
(小国小6年・サッカー)
東北トレセンU12南東北大会
出場(県選抜)(2022年)

県を代表する選手が数多く集まる中でプレーするところができ、たくさんさんの刺激を受けました。とても楽しかったです。また、そうした状況でも自分のプレーができるよう、日々の練習にもしっかりと取り組みました。

将来の夢は、まだ決まっていませんが、みんなが知っているような、名前を残せる人になりたいと思っています。

”

大きな経験で成長したい

今回出場する大会では、どんなに苦しいときも辛いときでも、笑顔でプレーし、楽しさを忘れずに見ている人に喜んでもらえるような試合をしたいです。そして、これまで応援してくださったかたがたに結果で恩返しできるように精一杯頑張ります。

今年は、自分自身にとつて、大きな経験ができて成長できる一年になると嬉しいです。また、高校生活で待っている新たな出会いも楽しみです。

スポーツに関わる仕事に

県の代表が集まる高いレベルの大会で、活躍できるように全員バレーで挑み、最高の戦いにしたいです。また、応援してくださるかたがたや、いつも支えてくれる家族に感謝の気持ちをプレーで表現できるように全力で戦います。

将来の夢は、まだはっきりとは決まっていませんが、スポーツに関する仕事ができれば嬉しいと思っています。そうした分野を高校で学んでいきたいと考えています。そして、新しい仲間といろいろなことに積極的に取り組んでいきたいです。



佐藤 樹果さん
(小国中3年・バレー)

山口 小雪希さん
(小国中3年・バレー)

JOCジュニアオリンピックカップバレーボール出場
2022年12月25日～28日開催(県選抜)

”

憧れの選手に近づけるように

高校総体では、強豪高校を破つての全国大会出場となり、県の代表として思い切り自分たちのプレーをすることに努めました。2年生のときに、病気で半年間サッカーができませんでしたが「必ず自分がスタメンで活躍する」という強い気持ちで練習に挑み、その成果が出たと思います。ただ、全国という景色は、今まで感じたことのない雰囲気、壁は厚かったです。

進学する大学は、昨年のワールドカップで大活躍した伊東純也選手の出身校で、そうした高いレベルの中で、少しでも近づけるよう頑張りたいです。

今後どんな形であれ、サッカーに携わっていければと考えています。継続していくことが大事であり、日々勉強です。



佐貝 誠さん
(山形中央高校3年・サッカー)
四国高校総体(インターハイ)
2022出場

”

※山口さん、佐藤さんのお話は大会出場前のものです。